

刊夕 日廿月一拾

常警每日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社

齒の常識 (二)

齒科醫 原精 一

▼ 齒が悪ければ如何なる事になる乎?
 2、話が不明瞭となりま
 す、従つて日常の語にも不
 便を伴ふのみならず外國語
 を研究する場合には非常の
 障礙となりませす

3 神經衰弱に罹り易く
 なる。齒が悪ければ食物を
 充分に咀嚼する事が出来な
 いから胃や腸の慢性病を起
 すことは誰でも想像し得る
 事柄であります。而して消
 化器系に慢性炎症が起ると
 神經衰弱が續發して來ると
 とは醫學の方で認められて
 居る事實であります。

4 早老を來し易い。齒
 が悪いと腸内の腐敗醱酵が
 劇しくなり、従つて毒素の
 吸収が甚しくなる爲に常に
 腦の働きが不活潑となり、

ノート
 全國に在
 る公私立
 圖書館の
 總數は約四千七百、この
 藏書冊數は併せて一千萬
 冊を越してゐる

早老を來し易くなりませす。
 5 血液の急劇なる變化
 を招く。齒痛には後述の如
 く種々の型がありますが、
 顔や頬や淋巴腺の腫大を伴

ふ種類の齒痛が起ると、身
 體に熱が出て來て惡寒がし
 たり、或はぞくぞくとふる
 へたりすることは熱知せら
 れて居る事實であります。
 是は齒の中で増殖した細菌
 や毒素が吸収せらるゝ爲で
 あります。斯様に熱が出た
 場合に耳から三四滴の血液
 を取り検査すると驚くべき
 血液の變化を現はして居り
 ます。殊に吾人の身體の防

明日の立献

【朝】味噌汁—ね
 ぎ 小付 た
 くわん
 【晝】玉子寄揚
 【晚】清汁—白須
 干 若芽 鱈
 の子合へ

禦に重大の關係ある白血球
 が非常に惡戰苦闘して居る
 有様が明瞭に現はれて居り
 ます。

齒性敗血症として恐れら
 れて居る病氣は即ち此の血
 液變化の劇烈なる型を意味
 するのであります。故九條
 武子夫人や元の米國大統領
 ルーズベルト氏の例が最も
 よい例であります。

6 其他三叉神經痛や視
 力障礙が起り或は中耳炎と
 誤らるゝ様な疼痛を發し又
 は食物を咀嚼する度に耳の
 前の邊で一種の音が聞えた
 り、下顎關節の疼みを伴ふ



孤兒

飯村 閑舟

叱られて
 今日も路傍に
 草まくら
 まよ私は
 放れ孤兒

あきらめて
 母のない夢
 草に寝て
 見ようよ泣かう
 誰のよと

叱られて
 今日も使ひに
 ひた走り
 いつかは偉く
 なる心地

遺稿
 手にする遺稿は
 遺志のまゝ
 君の母から
 心をこめて
 届けてくれた
 贈りもの

つつかは逢つて
 話さうと
 想を練りつゝ

つい煩雜に
 追はれ追はれて
 西東
 今日もデスクに

討そのせ
 りしあの日を
 偲びつゝ
 涙に沈む
 夕日暮

透明障子紙

意匠登録 第六三三七八號
 ▼ 本品は室内用、室外用の二種あり
 ▼ 室内用は張方従来の通り生熟糊にてよろし
 ▼ 室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし
 ▼ 本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具
 備す
 ▼ 雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外
 用は平氣なり
 ▼ 現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル)
 ◎ 定價
 ▼ 室内用 六十錢
 ▼ 室外用 八十錢
 ◎ 室外用ノリ 一罐 二十錢
 平町四丁目

夕伊勢屋 阿部商店
 電話四五番

● 賣弘め中粗景手拭一本呈上

吸入用酸素純度 99%

度量衡器
 モノサシ
 マス
 ハカリ
 器量計
 體溫計
 寒暖計

● 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

● 寫真材料一式販賣致シマス
 電話四〇番

吉田眼科病院

平紺屋町電話六八番
 醫學士 吉田久雄

季節料理

よせなべ

その他
 煮込みなべ 三〇
 牛なべ 三五
 豚なべ 同
 鳥なべ 同
 多び天ぶら 同
 るび天どん 三五
 るびふらい 三五
 かきふらい 二五
 あんこも酢 二〇
 酢のもの 二〇
 等々始めました何卒御試食下さい

魚清食堂

平ニ警察署通り
 電話六六三三

御祝儀、御法事の仕出し
 は廉價に御引受け致します
 ◇ 一名出前持さん入用

貸切の御用命は

ぜひ・三井自動車部へ!!!

電話六八五番

● 乗合は好間、合戸、澤渡方面行

外科 内臓 外科 レントゲン線

醫學博士 諸橋鐵彌
 ◇ 備完室病 ◇
 ◎ 新川町二七 (電四六四)

小名濱築港進む

明年度までに 外部工作を完成 更に大運河建設を日論む

商港小名濱の偉容着々整ふ

小名濱町は同町を流れる小名川を改修して大運河建設を目論み中であつたが、愈々具体案成り十年年度豫算に編成すべく近く縣に對して猛運動を開始することになつたが同町内務省築港事務所ではこの計劃に應援して既に小名川河口を改修して延長百メートルに亘つて幅員二十八メートルの

運河を建設續いて同

河の東岸五千坪の埋立を年内に完成する筈であるが更に十年年度には西岸一萬五千坪を埋立、二千トン級の汽船二艘を横付けし得る大岸壁を築造するとともに三百七十メートルの大防波堤の殘

の講評、本縣學務部長代理長瀬教育課長の訓示及び福島縣隊司令官眞山大佐、鶴岡四倉警察署長、木村大浦村長、新妻四倉町長等の祝辭並に後山聯合會長の挨拶等あつて十一時過ぎ聖壽の萬才三唱裡に解散したが聯隊區司令官眞山大佐の祝辭左の如し

今や皇國の鴻業愈々其歩武を進め東洋平和の礎石

稻こまから俵へ

一切自動的に完成する

渡邊村信用組合では此程七百圓を投じて新式稻摺機を購入各實行組合に交替で貸

渡邊村に新案稻摺機

與することになり今二十日午後一時から同村農會に於て賞演會を催したがこの稲

益々堅きを加へんとするの途上外に虎視眈々たる隣邦の策動は之れを阻害せんとし、内不良分子の潜行的行動は國民の結束を破らんとし殊に我が縣下は冷害に禍せられ最大の苦境に陥るの秋に方り黎明床を蹴つて起ち相共に剛健なる心身の鍛練体得に躍起せる石城健兒の壯舉は正に敬獎に價す

小名濱町會

海面税を付議

小名濱町會は昨十九日開き

小名請願駐在所竣功

來る二十三日盛大な開所式

既報像て工費千圓で建設中であつた小名濱漁業組合請願巡査駐在所は此程竣功を告げたので來る二十三日新嘗祭の佳日として小名濱町及び漁業組合聯合して盛大なる開所式を舉行する

江名信用

倉庫建設 利用を奨勵

江名町信用購買私用組合では此程農業倉庫を建設したのを機に十九日倉庫利用の宣傳ポスターを町内各戸に

平町人事

△出 生
△舊城跡二八 八幡勇氏長 女美智子さん
△回 死
△材木町三四 徳治氏妻藤 山はるさん(五〇)
△田町三二 清野音吉(六三)氏

石城健兒の 壯舉に敬獎

昨日青訓聯合演習に 眞山大佐の祝辭

既報去る十八、九の兩日郡下四十九ヶ所青年訓練所生千餘名を動員南地兩軍にわかれて華々しく舉行された聯合演習は昨十九日仁義田

川畔の拂曉戰酣なはなるとき嗚々たる休戦ラッパ響き渡り同九時より大浦小學校々庭に於て盛大な閱兵分列式を行ひ審判長大井川中佐

高麗橋を中心として

眞木翁の懷古事談

七、六間門方面

是れも又甚だしく面影止めぬ變り方

六間門の櫓前で無數に轉つたり地に刺つたりした銃丸(まる丸)推貫丸の二種後者は長く尖り日本の

側が參政を勤めた中村家の屋敷前に小高い石崖があり長屋門があつた、夫より東には大通脇迄の大竹藪があり、其又ズット東に長屋門(今の營林署官舎前)があり奥に則武家の屋敷があつた之は今の三村家の處で築城當時に植ゑたかと思はる、甘柿が昔から斯の通りの者だよと云はぬ計りに空高くそり立つて横にも大々的(び)がつて珍しい保存價値のある柿の大木だ、角

に此側は二屋敷丈だ。大竹藪と低い石崖。大名普請の六軒建。六間門櫓の東土手についた大通の南側の約半分迄の處には杉、椎、樅の大木が立並び、又其南は平地で大竹藪があつた、立木の端から今の營林署の東端迄の道側には低い石崖があつて(今ある太い櫻は石崖の跡だ)官舎の處迄に去、高窓を持つた所謂大名普請の棟

の高い六軒建の之に大きな總門の附いた宏莊な大長屋があり、道路とすれすれに路面を壓して屹立して居つた、此内西端の一軒丈は獨立して差掛屋根やら附屬の物置もあり古い庭に松や池などもあつた、それは私を生れた處だ、此東隣の棟續きが柱と扉に乳尻の附いた大きな總門だ、それから東は屋敷が五軒續いたがこれは別に特色のあるものではなかつた。

黒小倉通學服賣出

一望秋色

さあ御召替です
かかやには皆様の御満
足の得る品が何時も澤
山御座います

小學生用 (長ズボン付)

A.....90.00
B.....1.10.00
特製品.....2.35.00

中學生用

特製6號.....3.50.00
御注文(特上).....6.30.00

ふかや洋服店 平三 電話203

石城水産界に曉鐘

大型漁船時代出現か

一千里の荒波を乗切つて
遠海魚場開拓に活躍する

盛厚丸の壮舉に刺戟されて

目下鮪漁に活躍中の江名町漁船盛厚丸より磐城丸を中継して昨十九日小名濱町水産試験場に達した無電報告に依れば
同船は宮城縣金山沖合千五百哩の海上で鮪の大群に逢着數千尾を釣獲したが更に鮪群を追ふて沖合遙か二千餘哩の遠海に針路をとつて北進することとなつた
從來七、八百哩の近海で漁獲に躍起となつてゐた石城漁業界にとつて二千哩以上

サンマ群南下

千葉近海で豊漁

だが依然小粒!

昨今本縣沖合七八十哩の海上で漁獲され初めたサンマ群も潮流と寒氣の影響から次第に南下して現在千葉縣銚子沖を去る四五十哩の近海で豊漁を續けてゐる例年ならば寒流に乗つて遠海を回遊するサンマ群が今年は例外の現象を示してゐることは南下する親潮が丁度本縣沖で遠海と近海の二流に

關西風水害

實狀講演

平町第一、第二、第三各小學校は本日大阪市聖ヨハネ學園長古田誠一郎氏を招き關

西地方に於ける風水害の實

狀に關する講演會をされ、催したが同氏は昭和四年英京ロンドンに於て開催された少年團世界大會に少年團日本聯盟から日本代表として派遣された人である

平商來月

行事一束 平町各學校は二學期の終りも近づいたので目下考査その他で多忙を極めてゐるが平商は此程職員會議を開き十二月分の行事を左の如く決定した

清野家の美譽

亡父の遺志で 六十五圓を寄附 平町田清野延吉氏は亡父の遺志により六十五圓を左記各方面に寄附された

明日のラジオ

廿一日

今晩の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) 童話劇「叔父さんのお話」東京童話劇協會
- 後六、二五 英語講座(五)の四) フランク・ホール
- 後七、三〇 講演「刑法改正の基本方針の轉機」

年團へ十五圓、同火防組へ十圓

佑賢學舎

警城佑賢學舎の來

修學旅行

學舎の來

春卒業生五十七名は明二十一日平發午前零時五十四分で松本岡部兩講師引卒の下

清野音吉氏

平町田町三三吉野屋主清野音吉氏は永らく病氣療養中のごろ今二十日遂に逝去された行年六十二

全村民から 減刑を嘆願

問題の殺人事件公判開かる

被告殺意を認む

去る九月十一日夕一面識もない大野村大字上野上國有林内居住渡邊耕三郎(三〇)から飲酒を強要罵倒されたのを憤り斧を揮つて同人を殺した双葉郡新山町大字前田農石橋宗助(五〇)に係る殺人事件の第一回公判は今二十日午前九時より平支部に於て中島才判長係り開口、香西兩判事陪席、吉岡檢事立會、佐藤(東京)辯護士列席の下に開廷才判長よりの訊問に對して被告は最初殺意は全然なかつたが今になつて見れば憤慨の餘り殺す

明日の部

- 前七、〇一 實用文講座(二)の三)金子彦三郎
- 前七、三〇 聖典講義 六法禮經(一)文學博士椎尾辨匡
- 前八、〇三 婦人文學講座「新古今集講義」(五)石井直三郎
- 後八、〇五 七孔尺八と端唄若月玲人
- 後二、〇〇 家庭講座
- 後五、三五 農山漁村經濟更生實績講座(第五講)宮城縣遠田郡富永村々長鈴木

明日の部

- 木久七
- 後六、〇〇 子供の時間 偉人物語「一休禪師」天野雄彦
- 後六、二五 基礎英語講座(二九)岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「治外法權撤廢條約締結の回顧」子爵栗野慎一郎
- 後八、〇〇 地唄と三典今井慶松外
- 後八、二〇 俚諺見砂東樂外
- 後八、五〇 ラヂオ小説「百萬弗男と三日月杉明外

裁判所たより

△内郷村大字御厩字上宿一四古物南菅謙義(四〇)は去月八日頃同村住山満氏より古綿約三十貫匁を買受け乍ら帳簿に記入せず古物商取締法違反として罰金三圓に本日平區才判所に於て略式處分を受けた

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

味覺の秋!!

仙の干やなぎ

賣初めました

其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛

★鯉の子入荷致しました★

平町土橋 鈴藏魚店 電話六六二番

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

浮名新音頭

田邊南龍(作)
山本英春(書)

一八八:

八兵衛の失策 (二)

「此家でございます」

「さうか」

「嬢アどん今歸つたヨ」

「オやお前さん、何處へ行つて居たんだい、鳩ヶ谷の日野屋さんに青物を賣りに行くと言つたから、留守に大變が出来た故、今人をやつた處がモ一先刻歸つて了つたつて……夫から方々探したのだが何處へ行つて居たんだい」

「大變とは何が出来た」

「サア子供が死にました」

「ゲーツ」

「俄に引附けたからお醫者様ア迎へに行きましたたがモ一間に合ひません、歸つて來たら息を引取つて居りました」

「ヤレ、夫りやア飛んでもねえことが出来た……あの金で博ちをしなきやア好かつたが、遂一杯飲んだのが了簡違ひの原因、早速葬式金にも困つて了つたが、モシ其處にお出でなさる親分」

「何んだ」

「此方へお這入り下さいまし……今貴郎もお聞きなすつたでございませうが、思ひも寄らええ子供の病氣直ぐに二兩のお金を拵へ積

ア何うも……勘辨ならねえ直ぐ拵へて渡せ」

「出来る位なれば御猶豫は願ひません」

「出来ねえくれえならなせ借りた」

女房は涙に暮れて居りました

「又お前さん博ちを打つたんでございませう、お金の面さへ見れ直ぐに博ちを打つて了ふ、青物の賣上げは何うしてしまつたので」

「目目ねえ話したが嬢アどん博ち場で負けて了つた、

うするんでございませう」

「オイ……八兵衛さん俺ア女房の泣言を聞きに來たのぢやアねえや、二兩の切金を取りに來たんだ、早く渡して呉んねえな」

「渡して呉れろと仰しやつたつて迎も出來ません、何うぞ明日までお待ちなすつて……」

「ならねえ、明日になりやア親分の家へ皆んな歸りにやアならん、鳩ヶ谷に家が

あるではなし五里と六里遠くへ歸る、二兩ばかりの金で又取りに來られるものぢやアねえ」

「御道理でございませうが何うぞ……平生の時と違ひまして何しろ子供が死んで」

「エ、分らねえ奴だ、子供が死のうと親が死のうとそんなこと構つた譯ではねえのだ、俺が御貸元に言譯がねえから金がなけりやア相當の抵當ア出せ」



て急に死ぬ程の病氣になつた譯でもあるめえ死ぬ位の大病ならなせ博ちを打ちをすつた、拵へるつもりだつたが家へ歸つて見ると子供が死んで居ましたから勘辨して呉れよそんな虫の好いことが云はれたものだな

お負けに二兩といふ借金を背負つて來たのだ、勘辨して呉んねえ」

「お前さんにも困つたもんだねえ、只さへ今日に困つて居る貧乏世帯、お負に佛様を抱へて居る、何をす

るのもお金、尤き、マア何

市原醫院

平町 田町
電話一四四番

是非!

御融通には御利用下さい
萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

お醤油は……ヤマフル

醤油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品



山崎合名會社

福島縣平町(電話營業部二 造工場二七)
明治生命警城代理店 山崎 與三郎

磐城共濟病院

(福島縣平町) (電話六四二番)

小兒科	院長 石山謙一郎 (電話四四二番)
婦人科	部長 平賀一忠 (電話三七〇番)
外科	部長 坂本眞一郎 (電話二七二番)
耳鼻咽喉科	部長 前澤正
皮膚泌尿器科	部長 山謙一郎
花柳病科	部長 山謙一郎
X光線科	部長 山謙一郎
物理療法科	部長 山謙一郎
衛生試驗所	部長 山謙一郎

◎ 毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
◎ 夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
◎ 病室完備 入院隨意

体温計の検査日です

10日 機新 設新 お宅の体温計は?
◎ 正確な体温計を御使用下さい
◎ 毎月十日の検査日御利用下さい
計量器 指定販賣人 西村屋藥局
平・二 電三番